

# Donald J. Trump



特集

復活のトランプか、前進するハリスか

アメリカが掲げる「自由」の行方

# 米大統領選 2024

4年に一度の米大統領選。当初は、バイデン大統領と、共和党のトランプ氏の“高齢対決”になるかと思われていた。しかし、バイデン氏が選挙戦からの撤退を表明し、副大統領のカマラ・ハリス氏にバトンが渡された。トランプ氏を「犯罪者」だと批判する彼女が米国初の女性大統領となるのか、それとも米  
国第一主義を掲げるトランプ氏が大統領の座に返り咲くのか？ 海野素央先生による解説や、両党の  
正副大統領候補のスピーチの一部とともに、大統領選の注目ポイントをお届けする。 編集：EE編集部

解説：海野素央

(うんの・もとお)

米国国際大学（現アライアント国際大学）博士課程修了。明治大学政治経済学部教授。専門は異文化間コミュニケーション論、異文化マネジメント論。研究の一環として、過去の米大統領選挙でオバマ、ヒラリー・クリントン及びバイデン陣営にボランティアの運動員として加わり、激戦州で戸別訪問を行った経験を持つ。

# Kamala D. Harris



# 大統領選 スケジュール



アメリカ大統領選は党内手続きと本選挙の2段階に分けられ、1年以上の準備期間を要する長期戦です。

まずは、今回の選挙のスケジュールに従って、一連の流れをチェックしましょう(日付は全て現地時間)。

## 党内手続き

2024年1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

### 1月15日 アイオワ州党員集会 **1**

党員が大統領候補を選ぶ方法は2つある。1つは州の党員らが議論して決める「党員集会(caucus)」で、もう1つが「予備選挙(primary)」だ。例年、アイオワ州の党員集会を皮切りに選挙戦が本格的にスタートする。今年の同州共和党党員集会では、対抗馬デサンティス氏を抑えてトランプ氏が勝利を収めた。

### 6月27日 第1回 大統領候補者テレビ討論会 **3**

バイデン大統領とトランプ氏がCNN主催のテレビ討論会に出演。トランプ氏が虚偽発言を交えつつもとうとうと持論を展開する一方、体調がすぐれなかったバイデン氏は年齢への不安を払拭できず、民主党内はパニックに陥った。討論会から約3週間後、バイデン氏は選挙戦からの撤退とハリス氏支持を表明した。



7月21日  
バイデン撤退表明

### 3月5日 スーパーチューズデー **2**

例年2~3月の火曜日に、多くの州で集中して予備選挙や党員集会が開催される。最終候補者の選定に大きな影響を与えるため、このような呼び名が付いている。火曜日に実施されるのは、キリスト教の安息日である日曜日を避け、月曜日に馬車で移動したことの名残。今年は、共和党のトランプ氏、民主党のバイデン氏がそれぞれ14州、15州で勝利した。

7月13日  
トランプ撃たれる

### 7月15~18日 共和党全国大会 **4**

ウィスコンシン州ミルウォーキーで開催された。党大会では、予備選挙や党員集会の結果を受けて、各党の大統領候補・副大統領候補が正式に指名される。銃撃後初めて公の場に姿を現したトランプ氏が犠牲者に黙祷を捧げる一幕もあった。トランプ氏と副大統領候補J・D・バンス氏の指名受諾演説はpp.40-41、p.44に一部抜粋。

